

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ICUにおけるがん患者アウトカムに関する解析：単施設後ろ向き研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年12月31日から2025年12月31日までの期間に昭和医科大学病院 ICUに入室し、18歳以上で、再発もしくは切除不能の固形がんを有し、かつ腫瘍内科において化学療法を施行中または施行検討中の患者さん

2. 研究目的・方法

本研究の主な目的は、当院のICUに入室されたがん患者さんについて、入室の背景や理由、集中治療の内容、入室後の短期間の経過（30日・90日生存）をまとめることです。

さらに、副次的な目的として、ICU入室後に抗がん治療を再開できたかどうかや、短期間の生存に影響を与える因子について探索的に解析し、将来的に予後を予測するモデルの作成やICUへの入室判断に役立つ仮説を考えることを目指しています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、当院のICUに入室されたがん患者さんの入室の背景や理由、集中治療で行われた治療の内容、入室後の短期間の経過をまとめます。具体的には、ICUでの滞在期間、臓器サポートの内容、バイタルサインや血液検査、画像検査、病理や微生物検査の結果、治療中に生じた合併症やイベント、輸血や栄養管理の記録などを含めて記録します。また、ICUでの経過や退室後の状況も整理します。

さらに、がんに関する情報として、年齢や性別、身体の状態、がんの種類や病期、治療の目的、直近の治療内容とその効果、治療歴全般、抗がん治療の再開状況、血液や腫瘍の検査結果、病理診断や遺伝子情報、画像検査の評価、治療副作用や免疫関連の有害事象についても記録します。

これらの情報をもとに、ICU入室後の短期的な転帰や治療再開の可否に関する解析を行い、将来的に予後予測やICU入室の判断に役立つ知見を得ることを目的としています。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究代表者 昭和医科大学病院 腫瘍内科 鶴井敏光

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院腫瘍内科

氏名：鶴井敏光

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000(内線 4228)